春休み

三鷹の森ジブリ美術館で初の市民向けイベント・特別上映会

子どもは「こどもの時間」を過ごし、大人は「こどもの時間」を見よう

三鷹の森ジブリ美術館（三鷹市立アニメーション美術館）では、春休みに市内在住の親子を対象に、同美術館映像展示室「土星座」で特別上映会を開催します。

上映されるのは、昨年公開され好評を博した「こどもの時間」という、埼玉県桶川市にある保育園の子どもたちの日常を記録した映画です。ジブリ美術館では、かけがえのない「こどもの時間」を見つめ直すきっかけを作れたらと願い、今回この作品の上映会を行うことにしました。上映時間は80分。終了後は館内をご覧になれます。

大人は映像展示室で「こどもの時間」を見て過ごし、その間に子どもは美術館内で「こどもの時間」を過ごすというこの上映会。ご応募をお待ちしています。

※上映中は子どもたちだけで館内をご覧いただくことになります。

◆**募集**　三鷹市内在住で5歳～小学生の子どもがいる親子70組。大人1人に子ども2人まで参加できます。定員を超えた場合は抽選。

◆**日時**　3月26日㈫午前10時開演（9時45分開場）、午後0時30分閉館。

◆**場所**　三鷹の森ジブリ美術館映像展示室「土星座」

◆**応募方法**　3月11日㈪（消印有効）までに、はがきに住所・保護者の氏名・子どもの氏名・年齢を記入し「〒181―0013下連雀1―1―83三鷹の森ジブリ美術館3月上映会係」へ申し込む。当選発表は招待状の発送をもってかえさせていただきます。

※閉館日のためショップ・カフェは営業していません。

⇨同美術館☎40―2233

映画「こどもの時間」より

大沢台小学校・南浦小学校・井口小学校に学校図書館オープン

今年新しく小学校3校で、待望の学校図書館が完成しました。平成7年度から整備を進めてきた学校図書館は、児童・生徒の情報収集・活用能力や、読書能力を育むことを目的として設置されたもので、平成14年度には市内の15小学校・7中学校のすべてに設置されます。

学校図書館にはコンピューターが設置されており、貸し出し業務などすべてコンピューターで行うほか、子どもたちは自分の読みたい本をここから探すことができます。図書館内の蔵書はもとより、市内の学校間・市立図書館ともネットワークで結ばれているほか、インターネットでも接続されているので広範囲の図書の検索が可能となっているため、調べ学習などで活用されています。

すべての学校図書館には、専任の学校図書館司書が配置されており、図書の選定、貸出、整理などのほか、子どもたちに対して図書活動へのアドバイスをしたり、各科目の学習情報の収集や管理、提供などを行っています。また、各科目の授業で教職員とティーム・ティーチングなども行っています。

これまで学校図書館が設置された学校では、子どもたちの評判も上々で、休み時間には、みんながそれぞれに居心地の良い場所を確保して本を読んでいます。特に雨の日は満員御礼。また、高山小学校の「三木露風コーナー」、第四小学校の「山本有三・路傍の石コーナー」など、地域ゆかりの作家を記念する展示や書棚を設けている学校もあります。

また一方で、試験的に3つの学校で、学校が休業となる第2・4土曜日に地域への開放をしています。これからの高度情報化社会・生涯学習時代への対応や、完全週5日制実施を踏まえ進められたもので、14年度には新たに8校で、15年度には全校で開始されます。学校図書館は、これからは地域の生涯学習の拠点としての役割も期待されています。

子どもたちは楽しく読書「どの本借りようかな」

開放感のある居心地のいい広い館内

みたか平和映画祭

詳細は11面

ライフ・イズ・ビューティフル

1998・イタリア

山の郵便配達

1999・中国

3月9日㈯・10日㈰　芸術文化センター星のホールで

玉川上水クリーン作戦に160人が参加

歴史的な財産ともいうべき玉川上水の景観を、ごみの投棄などから守るため、2月21日に大規模な清掃が行われました。これまでも市民の有志のみなさんなどにより清掃が行われたことはありますが、今回は東京都、三鷹警察署・武蔵野市・市民団体・三鷹市が連携して行う大規模なものとなりました。

このクリーン作戦は、三鷹駅付近から万助橋までの玉川上水の両側約800㍍に渡り行われたもので、両市と都の職員のほか、たくさんのボランティアのみなさんなど約160人が参加。午前中に2時間かけてごみを搬出し、午後に本来の植生ではないシュロや竹の伐採やせん定を行いました。

玉川上水は、東京における自然の保護と回復に関する条例により、歴史環境保全地区に指定されています。また、昨年は上水に沿った道が「風の散歩道」として整備され、三鷹の森ジブリ美術館への通行路となるなど、市民のみなさんをはじめ多くの人が訪れるようになりました。しかし一方では、シュロなどの本来の植生ではない植物や、木が繁茂することにより、玉川上水の景観が損なわれているという声が寄せられていました。緑と水に囲まれたガーデンシティを目指す市にとっても、玉川上水の緑は大きな財産です。これからも市民のみなさんと一緒に守っていきます。

⇨緑と公園課☎内線2833

オフロ・アート

―銭湯の背景画展―

3月24日㈰まで　11：00～19：00（月曜日休館）

芸術文化センター・アートスタジオ　無料

日本独特のアート・銭湯背景画に着目し、現役絵師の公開製作と展示のほか、ミニチュア背景画や現代作家による「現代版銭湯背景画」を紹介します。

◆小学生向けワークショップ「おふろアーティストになるぞ」追加募集中

▷3月9日㈯、10日㈰午前10時～午後3時、同センターで。

▶三鷹市芸術文化振興財団☎47―5122へ申し込む。

三鷹市「北野湯」2000年　丸山清人

図書館の本棚から 159

「クラシックを読む」

知っていますか？　いま密かにクラシックがブームになっているのを！　今月はクラシックにまつわる話からオーケストラの舞台裏の物語までクラシック音楽に関する本を紹介します。

◆**「知ってるようで知らない音楽おもしろ雑学事典」　長田暁二著　ヤマハミュージックメディア**　知っているとちょっとした音楽通になれる雑学が満載。

気軽に読める音楽雑学書。

シューベルトの「未完成交響曲」は、どうして未完成なの？　ヴァイオリンは女性を型どったって本当？　「オーケストラ」っていつ頃できたの？　どんな意味？　などクラシック音楽に関する疑問から発車ベルの音楽ってだれが作っているの？　「七つの子」の七つは七歳か七羽か？　というような素朴な疑問までわかりやすく解説。

「それ、気になってた」「えっ、本当？」「あっ、そうなんだ」「知らなかった」と思う話が載っているかもしれません。

◆**「マエストロ、時間です」　宮崎隆男著　ヤマハミュージックメディア**

衛管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団などのステージマネージャーを経て、サントリーホール初代ステージマネージャーに就任した著者が語る、音楽家が最高の状態で舞台に立てるよう心を砕く仕事とは？

前半は日本初のホール専属ステージマネージャーとしての仕事と、多くの指揮者やソリスト、オーケストラのメンバーたちと接してきた中でのエピソードを紹介。後半はサントリーホール3代のマネージャーの座談となっています。

クラシック音楽ファンにとっては、たまらない魅力がいっぱいの本です。

◆**「究極！　クラシックのツボ」　許光俊編著　青弓社**

クラシックって、なんだろう？　クラシック音楽を聴いている人、聴いてみたい人のために、いちばん大事なポイントを厳選して紹介。作曲家や演奏家、指揮者、歌手の超辛口批評から、コンサートの作法まですべてホンネの事典。

編著者が推薦する聴く価値のあるオーケストラ、指揮者、演奏家や絶対に聴いたほうがいいCDも紹介されています。

◆**「オーケストラを読む本」　鈴木織衛編　ヤマハミュージックメディア**　オーケストラの入団試験や団員の給与などオーケストラにまつわる素朴な疑問、オーケストラのしくみ、楽器の種類、歴史、世界の名オーケストラ、コンサートの楽しみかについて、やさしく、楽しく説明。

この本を読んで、オーケストラを聴きに行ってみてはいかがですか。

◆**「だからオペラは面白い」　佐々木忠次著　世界文化社**　一般的に敷居が高い「高尚で難解な劇場芸術」と思われているオペラ。そんな表面的先入観を覆す体験的オペラ論。オペラとは何か？　オペラに必要なものは…などその本質に迫る。

実際に劇場へオペラ鑑賞に行っているような気分になれる言い回しで始まるこの本は、全4幕で構成されており、副題にも「舞台裏の本当の話」とあるように著者が仕事を通じて得た、さまざまな観点からみた劇場芸術の楽しみ方、味わい方など、舞台裏から見てきたオペラの面白さ、本当の姿を描いています。

あなたも本を読みながら、観客になってみませんか。

⇨三鷹図書館☎43―9151